平成27年度　第1回産業医部会幹事会　議事録

日時：平成27年5月14日(木)　16:00～19:00

場所：グランフロント大阪　コングレコンベンションセンター（　B2 F　）

会議室１（ルーム１）

出席：斎藤政彦、宮本俊明、原俊之、西條泰明、菅原保、色川俊也、福本正勝、

谷山佳津子、加藤憲忠、服部真、石川浩二、寺澤哲郎、中西一郎、

伊藤正人、森口次郎、宇土博、山本真二、杉原由紀、斉藤恵、小田原努、

彌冨美奈子、垣内紀亮

欠席：中平浩人

１．部会長選挙の結果、斉藤政彦幹事を部会長に選出した。

２．新任幹事より就任の挨拶があった。

３．審議事項

①各幹事の役割分担について

　　斉藤部会長が案を提示し、メール会議にて調整を行う事となった。

②総会報告事項について

色川幹事、加藤幹事、谷山幹事より、平成２７年度産業医部会総会の議事ならびに報告内容に関して資料に基づいて、説明がなされた。

③全国協議会の新名称と今後の運営について

　　　医部会としては、平成27年4月20日の臨時メール幹事会の意見集約を基に、「日本産業衛生学会全国協議会」の名称を推すこととした。その後、他部会も賛同したことにより、平成28年度秋に開催予定の第26回大会より、「日本産業衛生学会産業医・産業看護全国協議会」の名称が、「日本産業衛生学会全国協議会」という名称になることが、斉藤部会長より、報告された。これにより、産業医部会、産業看護部会、産業衛生技術部会、産業歯科保健部会の４部会が共催することになった。

④医部会報について

　　平成27年度より医部会報編集作業は編集委員会制を採用することとなった。谷山幹事を新たに編集委員会委員長に任命し、これまで通り、年３回の発行予定である旨が確認された

⑤ホームページについて

　　会員への情報提供の窓口として活用されるよう、森口幹事を中心に今後も適宜改善を行っていく旨が確認された。

⑥地方会活動の活性化について

　　斉藤部会長より、地方会医部会への助成金を今年度から増額する旨が報告された。

⑦フォーラムおよび産業医部会企画の役割分担について

　　医部会自由集会は産業医部会企画と名称変更し、世話人の中に開催地方会部会幹事を入れて企画・運営にあたることとした。

⑧ストレスチェック制度について

　　意見交換を行った。

⑨次回幹事会日程について

　　第25回産業医・産業看護全国協議会の期間中である、平成27年9月17日（木）14時～17時に開催することとなった。

４．報告事項

①服部幹事より、第24回全国協議会（金沢）の会計の概要が報告された。

②中西幹事より、第88回学術集会（大阪）における医部会フォーラムについて概要の説明がなされた。

③山本幹事より、第25回全国協議会（山口）の準備状況が報告された。

④伊藤幹事より、第26回全国協議会について、平成28年9月8日（木）～9月11日（日）京都テルサでの開催が決定したと報告された。

⑤菅原幹事より、第89回学術集会（福島）における医部会フォーラムは、平成28年5月27日（金）に開催される予定であることが報告された。テーマは未定。

⑥彌冨幹事より、現在日本専門医機構で検討されている基本領域に社会医学系は含まれておらず、日本産業衛生学会は社会医学系の関連学会、関連団体と共同・協働し、社会医学系の基本領域の確立を目指す方針であることが報告された。

⑦宮本副部会長より、生涯教育委員会へのGPS提供の協力要請と、若手研究者の会への無形の支援について要請があった。生涯教育委員会への部会からの委員は変更なし。

⑧斉藤部会長より、政策法制度委員会では、化学物質とメンタルヘルスに関する提言に次いで、産業保健サービスをどう考えるかというテーマに取り組んで行く方針であることが報告された。

⑨加藤幹事より、平成26年度に実施した、プロフェショナルコースに関する報告並びに、平成27年度のプロフェッショナルコースの今後のスケジュールに関して報告がなされた。

⑩菅原幹事より、本年度の全国協議会でのポスター賞について、採点方法の変更を行う予定であることが報告された。

⑪斉藤部会長、宮本副部会長より、理事会報告がなされた。

⑫その他　斉藤部会長、宮本副部会長より、主治医と産業医の連携が重要であるという認識を高めてほしい旨が報告された。

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（以上）